

見上げれば いつも青空

今月は、大気汚染防止推進月間です

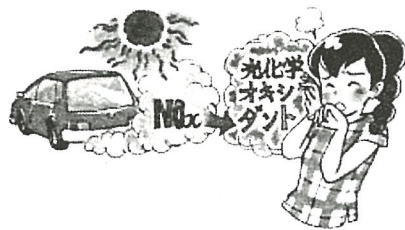
1年間のうち「冬期」は自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房の影響、更には冬特有の気象条件等により、代表的な大気汚染物質である窒素酸化物（NOx）の濃度が特に高くなる期間です。環境省及び公害健康被害補償予防協会では、毎年12月を大気汚染防止推進月間としています。私達に何ができるか考えてみましょう。

なぜ、冬は空気が 汚れやすいのでしょうか？

12月は、年末の繁忙期を迎えて自動車交通量が増えますし、ビルや家庭の暖房もフル稼働し、NOxがどんどん排出されます。さらに、冬特有の気象条件が大気汚染に拍車をかけます。

冬には、上空の冷たい空気が地表付近の空気の上に重くのしかかる「逆転層」という現象がよく起きます。「逆転層」になると、地表付

日常生活の中で（例えば車の運転や暖房など）、モノが燃えるときに必ずNOxが発生します。空気を汚しているのは、モノを燃やしている私たちなのです！



めに、例えばこんなことから始めて下さい。

○アイドリング・ストップ
を実行しましょう

停車中のエンジンをかけっぱなしにすること（アイドリング）は、なるべく控えてください。

○マイカーの使用はできるだけ控えましょう

買い物など近くの外出には歩くか自転車を使い、遠くに出かけるときも公共交通機関を使うように心がけてください。

どうすれば、空気が きれいになるのでしょうか？

空気が汚れるのを少しでも抑えるためには、私たちの身近な生活から見直していくしかありません。私たちの小さな努力の積み重ねが、やがて大きな花を咲かせるのです。

私たちに何ができるか考えてみましょう。きれいな空を子供たちに引き継ぐた

○車の空ぶかしや急発進・急加速はやめましょう

車の急発進や急加速・空ぶかしなどを行うと、その分燃料を使いますので、NOxの排出量が多くなります。

○暖房を控えめにしましょう

暖房を使用するときは、部屋を暖めすぎたり、人のいなくなった部屋に暖房がかかっていることのないよ

う注意してください。部屋の設定温度を1度下げ、ムダをなくせばその分空気はきれいになります。

「見上げれば
いつも青空」

こんな街って素敵だ
と思いませんか？

問合せ

住民課住環境班

☎1212



自動車リサイクル法がスタート

私たちの生活で欠かせない車は、国内で年間約400万台が廃車されています。ゴミを減らし無駄遣いしない循環型社会をつくるために、車のリサイクルについて自動車メーカーや関連事業者、車の所有者の役割を決めた自動車リサイクル法が2005年1月からスタートします。